

第2章 調査概要

一般財団法人商工総合研究所 主任研究員 中谷京子

1. 調査期間

2023年8月29日～2023年8月30日

2. 調査の方法

WEBアンケートで実施した（株式会社マクロミルに登録しているモニターを活用、アンケート票の内容は独自に作成（アンケート票は本論文の参考資料として商工総合研究所HPに掲載））。

3. 調査内容

調査対象は、外国人従業者（技能実習生含む）を雇用している中小企業⁴に勤務する係長以上の者、ただし、所属する部署にて外国人従業者を管理指導する役職に従事していることとした。

また、回答者の属性（性別、年齢、回答者の勤務先企業（業種、従業員数、本社所在地））を尋ねた。

回答者数は1,236件であった。

なお、株式会社マクロミルのアンケートモニターは、その所属企業名が紐づけされていないため、必ずしも1名が1社を代表する（回答者数が企業数）とは限らない。つまり、1社から複数の個人がモニターとして登録している場合には、回答者数>企業数となる可能性がある。

アンケート票の内容は、大きく6つのカテゴリーで構成した（設問数28）。

- ・人事施策（育成、採用、給与、研修、福利厚生など）
- ・組織風土（社員間の競争、満足度、若手・女性・高齢者の活躍など）
- ・人的交流（教え合う文化、経営者との距離の近さ、交流機会の多さ、（外国人従業者との）勤務時間内の会話頻度、（外国人従業者との）勤務時間外の交流など）
- ・挑戦への支援（訓練を要する業務への従事、日本語能力が必要な業務への従事など）
- ・組織の期待（即戦力としての活躍、業務スキル向上、自らの判断で行動、日本語でのコミュニケーション能力など）
- ・資質（仕事を覚える意欲、成長度、満足度、定着度など）

回答者には自社の外国人従業者を3つのカテゴリー（「技能実習生」、「高度人材（事務系）」、「高度人材（技術系）」）に分けて回答させることとした。

アンケート内容が程度を問う場合は、間隔尺度による回答とした。

4. アンケート分析方法

最初に、回収したアンケートを質問項目ごとに集計（単純集計）し、アンケート回答者が所属する企業の基本情報をヒストグラム、帯グラフなどを用いて説明する。次に、外国人従業者

4 従業員数300名以内（業種不問）

の採用目的と定着度合いについて、カテゴリー別にどのような特徴があるのかをまとめた。

加えて、外国人従業員の活躍度について、重回帰分析を行い、3カテゴリーにおいて企業側のどのようなアプローチが彼らの活躍に有効なのか確認することを試みた。